

## 市長記者会見

期 日 令和7年1月16日（木）  
時 間 午前10時～（市政記者会）  
午後1時30分～（新市政記者会）  
場 所 対策室2・3

### 発表内容

- 1 バスでおでかけキャンペーン第2弾の開催について  
(都市交通政策課)
- 2 巻駅のバリアフリー化等に向けた基本協定の締結について  
(道路計画課)
- 3 潟シンポジウム2025について  
(環境政策課)

## 「バスでおでかけキャンペーン(第2弾)」の開催概要

### 1 目的

新潟市と新潟交通(株)が締結した連携協定に基づき、両者で取り組む施策の展開に向けて、バス利用データをもとにしたより詳細な分析を行うため、データの提供にご協力いただける方「バス交通サポーター」になっていただくことを目的として、「バスでおでかけキャンペーン(第2弾)」を開催します。

### 2 実施内容

- 新潟交通アプリ「りゅーとLink」で利用者情報を提供頂いた方に無料1日乗車券を発行し、当日、上記対象路線で何度でもご利用頂けます。

### 3 実施日

- 令和7年3月20日(祝日) ※始発バスから最終バスまで

### 4 対象者

- 「りゅーとLink」で交通系ICカード番号を含む利用者情報の提供に同意いただいた方

### 5 対象路線

- 新潟市内で運行しているバス(路線バス、区バス、住民バス)が対象。  
※県内県外高速バス、空港リムジンバス、新潟市観光循環バス、佐渡汽船・新潟空港ミニライナー、新潟空港・瀬波温泉ミニライナー、月岡温泉シャトルバスなどは除く。  
※土曜・日曜運休の路線は除く。

### 6 乗車方法



- 「りゅーとLink」をダウンロードして利用者情報を登録していただきます。
- キャンペーンに申し込みいただいた方に、無料1日乗車券を発行します。
- 当日は、降車時に無料1日乗車券の画面を運転士に提示していただきます。  
(乗降の際に、ICカードのタッチは不要)

## 7 その他

- ・アプリでのお申し込みの開始は、3月上旬を予定しています。「りゅーとLink」アプリにて、交通系 IC カード番号を含む利用者情報を登録した上で、申し込みをお願いします。申し込み方法など、詳細が決まり次第、お知らせいたします。
- ・当日は、バスが混雑し乗り切れない場合もありますので、お時間に余裕をもってバスをご利用ください。

### 【問い合わせ】

都市政策部都市交通政策課長 野坂

TEL:025-226-2723

FAX:025-229-5150

### 【新潟交通アプリ「りゅーとLink」概要抜粋】

#### ・概要

公共交通利用と地域での消費活動の好循環を生み出し、地域活性化を実現するため、交通事業者アプリ「りゅーとLink」で、利用者が楽しくポイントを貯めることができます。

一定の回数以上、バス・シェアサイクル利用があった場合、ポイントが付与されます。

利用者が貯めたポイントは、りゅーとポイントならびに新潟交通が運営する商業施設で利用できる商品券と交換ができます。

- ・アプリの運用開始 令和6年12月2日～

(「バスでおでかけキャンペーン(第2弾)」でこのアプリを活用する予定)



※アプリ画面表示例

“バス移動 × ショッピング × ポイ活!?”

## 新潟交通の 新アプリがリリース!



乗って「ザクザク」  
ためて「ワクワク」  
つなげて「ドキドキ」  
バスのある生活に彩を

※本企画は「国土交通省共創・MaaS実証プロジェクト」事業を活用しております。  
実証期間：2024年12月2日～2025年2月28日

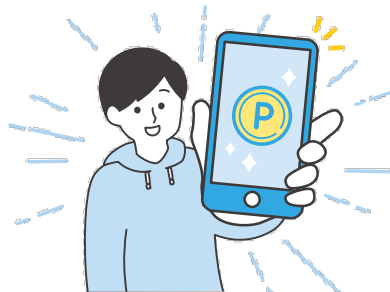


利用者の利便性を最大化するために、  
日常でよく使うサービスをつなぎ合わせて  
個々人に合ったサービスを提供するアプリケーションです。  
りゅーと Link と連携し、利用者の移動行動に合わせて  
目的地でのパーソナライズされた  
サービスの提供を目指します。

## 📣 アプリでお得!



毎日のバス利用で  
キャンペーン応募! ポイントや  
商品券をゲットしよう!



貯めたポイントは  
「りゅーとICポイント」や  
「BP商品券」に交換できます!



ビルボードプレイスの  
お買い物でも  
ポイントが貯まります!



# りゅーとLinkでできること



バス利用に合わせておトクな  
キャンペーンへ応募できる！

キャンペーン一覧から、自分に合ったキャンペーンを探して、  
応募ボタンをタップしよう。日々のバス乗降データや、  
ビルボードプレイスでのお買い物で、応募条件を達成。  
ポイントや商品券が当たるかも!? キャンペーン続々更新中!

デジタル1日乗車券を購入して  
バス乗車をよりおトクに!

りゅーとLink購入タブにて、一日乗車券を購入できます。  
期間限定で、割引価格で乗車券の販売を実施します。お見逃しなく!

【販売(利用)期間】 2024年12月02日～2025年2月28日  
【有効期限】 利用期間中いずれか1日限り  
【支払方法】 ネット(クレジットカード)決済サービスのみ



ポイントが貯まる使えるりゅーとLink!

りゅーとLinkでは、バス利用やお買い物でポイントを貯めてお得な特典が手に入ります。

### サービス連携機能について

お得なキャンペーンの他に、サービス連携でポイントが獲得  
できます。環境行動アプリやシェアサイクルと連携して、お  
得な特典を受け取ろう。環境アプリと連携して、バス利用や  
普段の日常生活で、どれだけ環境保護に貢献しているかを  
可視化&ポイントゲット。地球に優しい移動手段を応援しま  
す。サービスをつないで、よりお得にバス生活を楽しもう!

### ポイントの使い方

貯まったポイントは、以下の  
交換先で利用できます。

- りゅーとICポイント  
1000ポイント
- BP商品券  
1000円分

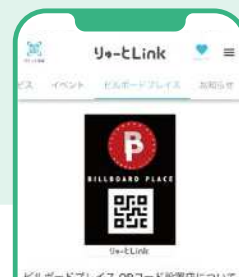


### ビルボードプレイス QRコード設置について

専用のQRコードをりゅーとLinkで読み込みポイントを獲得!ビルボードプレイス (BP) での  
お買い物時に、店舗に設置されたQRコードを読み取ることでポイントを獲得!  
QRコード設置店舗はアプリ内で確認可能です。

#### 注意事項

- ・一部の店舗ではQRコードが設置されていない場合があります。  
(りゅーとLinkに掲載されている店舗のみ、QRコードが設置されています)
- ・QRコードの読み込みは1店舗につき1日1回までです。



まずは無料でダウンロード!

りゅーと  
Link



App Store  
からダウンロード



Google Play  
で手に入れよう

## 巻駅のバリアフリー化等に向けた基本協定を締結

### ○ 協定の目的

このたび本市では、巻駅周辺のバリアフリー化や交通結節点の機能強化等を目的に巻駅周辺整備事業に関する基本協定を締結しました。

### ○ 協定の概要

協定名：越後線巻駅周辺整備事業に伴う基本協定

協定先：東日本旅客鉄道株式会社

締結日：令和7年1月15日（水曜）

内 容：駅前広場整備及び東西自由通路の新設等に関する協議の基本的な事項を定めたもの

### ○ 現時点における巻駅周辺整備事業の内容

- ①西口駅前広場に送迎スペースやバス・タクシー用のロータリー等を整備
- ②東西自由通路の整備と併せて東口にも改札を設置

#### 西口広場計画（案）

面積 約 4,900 m<sup>2</sup>、一般車乗降場+短時間停車場 約 30 台、  
駐輪場 約 360 台(東口含む)、バス乗降場、タクシー乗降場、  
バリアフリースイレ 1 箇所

### ○ その他

自由通路および駅舎の外観は、今後、複数のデザイン案について、駅利用者や地域の方々へのアンケート等によりご意見を頂き、決定する予定です。

#### 【お問い合わせ先】

新潟市 土木部 道路計画課長 加治

電話 0 2 5 - 2 2 6 - 3 0 3 4 (直通)



## 潟（かた）シンポジウム2025の開催について

## 1. 趣 旨

ラムサール条約の湿地自治体認証を本市の都市ブランドとして活用し、潟などの湿地の魅力が市内外の多くの人に知ってもらうとともに、地域における湿地の保全や賢明な利用の促進を図るため、「国際湿地都市N I I G A T A のこれからを”デザイン”する」をテーマとしたシンポジウムを開催する。

## 2. 主 催

新潟市、新潟市里潟研究ネットワーク会議

## 3. 開催日時

令和7年2月9日（日） 午後1時30分～午後4時30分

## 4. 会 場

新潟県民会館 小ホール（中央区一番堀通町3-13）

## 5. プログラム概要

## (1) 基調講演

講師 佐々木 葉 氏（早稲田大学理工学術院教授、  
（公社）土木学会会長）



佐々木 葉 氏

## (2) 「国際湿地都市N I I G A T A」ロゴマーク発表

【デザインコンセプト等説明】

松浦 柊太郎 氏（株式会社U・STYLE ディレクター）

## (3) 「新潟市里潟ガイド」認定証の授与

今年度から本市の潟の歴史や魅力・見どころなどを案内する「新潟市里潟ガイド」の育成講座を開始し、今回が初の認定。

## (4) パネルディスカッション

コーディネーター

・遠藤 麻理 さん（ラジオパーソナリティ、フリーアナウンサー）

パネリスト

- ・佐々木 葉 氏（早稲田大学理工学術院教授、（公社）土木学会会長）
- ・澤口 晋一 氏（新潟国際情報大学教授、新潟市里潟研究ネットワーク会議座長）
- ・松浦 柊太郎 氏（株式会社U・STYLE ディレクター）
- ・若尾 明弘 氏（特定非営利活動法人新潟湿地都市研究所 理事長）

## 6. 申し込み

- 定員 先着250名【入場無料】
- 方法 ①新潟市ホームページ（右）  
②新潟市役所コールセンターにて受付  
電話 025-243-4894（受付時間 8:00～21:00（年中無休））
- 申込開始 1月23日（木）から



## 【お問い合わせ先】

新潟市環境政策課長 小泉  
電話025-226-1356（直通）

# 「国際湿地都市NIIGATA」の これからの”デザイン”する

新潟市には、<sup>かた</sup>潟をはじめとする豊かな湿地環境があり、湿地をとおして人と自然が共生してきました。ラムサール条約の湿地自治体認証により世界に認められた新潟市の、都市と湿地・自然との関わり方のデザインをとおして、“国際湿地都市NIIGATA”の将来を展望してみましょう。



## 【プログラム】

### 第1部 基調講演

講師: 佐々木 葉 氏  
(早稲田大学理工学術院教授)

テーマ: 越後平野の風景デザイン



### 第2部 「国際湿地都市NIIGATA」 ロゴマーク発表

### 第3部 「新潟市里潟ガイド」 認定証の授与

### 第4部 パネルディスカッション 「国際湿地都市NIIGATA」の これからの”デザイン”する



コーディネーター: 遠藤 麻理 さん  
(ラジオパーソナリティ/フリーアナウンサー)

【日時】 2025年 **2月9日** (日) 13:30~16:30  
(受付12:30~)

【会場】 新潟県民会館 小ホール (新潟市中央区一番堀通町3-13)

※お越しの際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

【申込方法等】 定員 / **先着250名** **入場無料**

方法 / ① 二次元コードで 新潟市ホームページ

「かんたん申込み」……………→

② 電話で 新潟市役所コールセンター

TEL:025-243-4894



申込開始 / 1月23日(木) [電話受付時間は8:00~21:00 / 年中無休]



# 第1部

## 基調講演



【講師】

佐々木 葉 氏 (早稲田大学理工学術院教授 / (公社)土木学会第112代会長 / (特非)郡上八幡水の学校副理事長)

景観論・インフラのデザインを中心に研究。共著書に「土木デザイナーひと・まち・自然をつなぐ仕事」「ゼロから学ぶ土木の基本-景観とデザイン」「風景とローカルガバナンス」など。水に関わる広義のインフラに注目した地域まちづくりに関心があり、福島潟も重要な研究のフィールドとしている。

# 第2部

## 「国際湿地都市NIIGATA」ロゴマーク発表



【デザインコンセプト等説明】

松浦 柗太郎 氏

(株式会社U・STYLE ディレクター)

鳥屋野潟を中心とした新潟の地域ブランディングに取り組む。「潟ボーイ's」シリーズの企画制作、潟マルシェなど、デザインを通じた地域の魅力創出に向け、様々な場と機会を取組みを進める。公募により今回発表となる「国際湿地都市NIIGATA」のデザインを手掛ける。

### ～「国際湿地都市NIIGATA」ロゴマークとは～

国内で初めてラムサール条約の湿地自治体認証を受けた新潟市を、都市と自然が共生する「国際湿地都市NIIGATA」としてPRするため、作成するものです。公募により、株式会社U・STYLEさんがデザインを手掛けました。

湿地の保全活動やイベント、市内の特産品・サービスなど、さまざまな場面での活用を期待しています。

# 第3部

## 「新潟市里潟ガイド」認定証の授与



### ～「新潟市里潟ガイド」とは～

新潟市内の里潟の魅力(歴史や見どころ、地域住民との関わり、自然環境、体験プログラム)について、体系的に案内するガイドです。育成講座を修了した方を新潟市が認定します。令和6年に開設し、8月～12月にかけて全5回の講座を行いました。

今回のシンポジウムでは、記念すべき第1回の認定を行います。

# 第4部

## パネルディスカッション



【コーディネーター】

遠藤 麻理 さん (ラジオパーソナリティ/フリーアナウンサー)

BSNラジオ「四畳半スタジオ」(毎週月曜日～木曜日 14:00～18:00)パーソナリティ。エッセイ連載に新潟日報「遠藤麻理のなんとかなる なるようになる なんとでもなる」(第2・4水曜)、著書にこの連載をまとめた「な～る な～る」。前 水の駅「ビュー福島潟」名誉館長。



【パネリスト】澤口 晋一 氏

(新潟国際情報大学教授 / 新潟市里潟研究ネットワーク座長)

専門は自然地理学(地形)。もともと北極や高山などの地形研究を専門としていたが、7年ほど前から砂丘と潟が研究の中心となっている。

【パネリスト】佐々木 葉 氏



【パネリスト】若尾 明弘 氏

(特非)新潟湿地都市研究所理事長 / エヌシーイー(株)取締役)

平成7年秋、転勤で来県。ビルの谷間から見たハクチョウの姿と角田山から俯瞰したパッチ状の田園風景に感動。以降、新潟の湿地をまちの活性化に繋がりたいと考えている。

【パネリスト】松浦 柗太郎 氏



このシンポジウムは、毎年2月2日の国連デー「世界湿地の日」のイベントとして開催します

新潟市 潟のデジタル博物館  
Niigata City Wetland Digital Museum  
<https://www.niigata-satokata.com/>

